

トピックス  
**TOPICS 3**  
表彰

各分野で長年の功労や日頃の地域活動等への取組みが認められた方々に、表彰状が贈られました。

救急医療功労者厚生労働大臣表彰  
**清治 邦夫氏(上町5)**

清治邦夫氏が、令和2年度救急医療功労者厚生労働大臣賞を受賞しました。清治氏は、昭和56年に個人医院を開業し、地域住民の疾病予防と治療に熱心に取り組みなど、長年にわたり本市の地域医療に尽力されてきました。また、平成22年からは県医師会の副会長、令和2年からは県医師会顧問を務められており、地域医療の連携を牽引し、救急医療の向上に貢献したことが認められ、受賞となりました。



▲6月21日、市長に受賞の報告を行った清治氏(写真右側)

清治氏は「身に余る光栄です。皆さんのご協力の賜物。この賞は皆で頂いたものです」と感謝の言葉を述べられました。

教科書供給功労者文部科学大臣表彰  
**西塚 良一氏(正殿1)**

教科書取次供給事業に45年以上従事し、尽力された功績が認められた方に贈られる文部科学大臣表彰を、西塚良一氏(西塚本店・正殿1)が受賞しました。西塚氏は昭和50年から家業に携わり、同時に教科書供給業に従事。現在まで46年間、市内の小中学校の子どもたちに教科書を届けてきました。



▲6月22日に教育委員会を訪れ、教育長に受賞の報告を行った西塚氏(写真左側)。家業のお店では昭和5年から教科書取扱いを開始。父親から引き継いで親子2代にわたって市内の小中学生に教科書を届け続けています。

教科書は、教科や学年によって配付する種類が異なるなど、供給業務には対応の正確さ・迅速さが求められる重要な仕事です。西塚氏は「教科書を通じて先生や生徒とつながりを感じ、やりがいを感じている。いつもありがたい気持ちでいっしょです。」と語られました。

県消防救助技術指導会で  
**尾花沢市消防本部が2位**

6月9日、第32回山形県消防救助技術指導会が行われ、全6チームが出場した「ロープブリッジ救出」の部門で、尾花沢市消防本部が2位に入賞しました。7月には仙台で行われる東北大会に出場します。ロープブリッジは、向こう側の建物にいる要救助者を、ロープを渡り救出に向かう技術と時間を競う競技です。訓練の様子を撮影した動画には、あっといつ間にロープを体に結び付け、早送りしているかと思うような凄まじい速さでロープを渡って救助に向かう、頼もしい隊員の姿が納まっています。



▲6月9日、市長に入賞の報告を行った消防隊員の皆さん。日頃の訓練の成果が結果となって表れました。現在は東北大会に向けて、更に技術とスピードを磨く訓練中！

4人の隊員は、「更に1カ月訓練を重ねて、東北大会でも入賞を目指したい」と抱負を語りました。

トピックス  
**TOPICS 4**

尾花沢中央ロータリークラブ  
尾花沢小学校へ支援金とペット  
ボトルキャップを贈呈

尾花沢中央ロータリークラブが、子どもたちの役立つものに使って欲しいと尾花沢小学校へ「未来を担う子供支援金」10万円を寄贈。また「青少年赤十字活動支援」としてペットボトルキャップを贈呈しました。6月21日に贈呈式が行われ、環境委員会委員長の西塚柚愛さん(6年)が代表で受け取りました。



▲写真：左側から順に池田剛尾花沢中央ロータリークラブ幹事、大山二郎同クラブ会長、下河辺敏尾花沢小学校長、環境委員会委員長の西塚柚愛さん。

今回贈呈されたペットボトルキャップは、児童たちが集めたものと合わせて回収業者に引き渡され、世界の子どもたちのワクチン接種などに役立てられます。

トピックス  
**TOPICS 5**

ヤマト運輸(株)と「災害時  
における物資輸送等  
に関する協定」締結

6月2日、ヤマト運輸(株)と尾花沢市との「災害時における物資輸送等に関する協定」の締結式が行われました。

東日本大震災や毎年のように起きている風水害などの教訓をもとに、市でも様々な防災対策や発災時の体制強化を講じています。「宅急便」など各種輸送に関する事業を展開するヤマト運輸(株)との協定締結により、災害発生時における避難所等への物資輸送や集積された物資の管理などが円滑に行われるよう、協力いただくことができるようになります。



▲「企業の持つ運送車両やネットワークを使いながら市町村に貢献していきたい。市と連携をとりながら対応していきたい。」とあいさつされた花房誠治ヤマト運輸株山形主管支店長(写真左側)

トピックス  
**TOPICS 6**

新路線バス  
「大石田駅通学線」運行開始

高校生たちの長年の願い  
「通学の足がついに実現」

少子高齢化や市民の生活様式の変化を受けて今年度市で進めている公共交通再編事業。その一つとして、高校生の朝・夕の通学時間帯に特化した新路線バス「大石田駅通学線」が、7月1日に実証運行を開始しました。この日北村山高校で行われた運行開始式では、生徒会長の阿部珠羅さんが「通学路は夏はとても暑く、冬は雪で道が覆われて歩くのがとても大変。バスが開通したことで快適に通学できるようになります。時間を有効に活用し、勉学に励みます」とあいさつしました。



▲市役所発大石田駅行きのバスに乗り込む高校生たち。朝・夕の電車時間に合わせて運行するバスは、市外に通う学生の「足」として利用できるようになりました。



▲早朝大石田駅に到着した電車から、北村山高校行きの新しいバスに乗り込む生徒たち。

**尾花沢中学校緑の募金を寄付  
豊かな自然を守る緑化活動**

6月1日、尾花沢中学校の生徒が校内で集めた「緑の募金」2万7千750円が市に寄付されました。JRC委員の佐藤さんと遠藤さんは「生徒数は減りましたが、イラス、トツきのおたよりを配布したり、終わりの会で呼びかけたおかげで昨年より多くの募金を集めることができました」と今年の募金活動を振り返りました。  
緑の募金は県内の緑化事業の推進に役立てられます。



**玉野小学校レクリエーション大会  
ニュースポーツに初挑戦**

6月4日、玉野小学校全校生が上柳健康増進施設で、年齢や体力に関わらず楽しめるニュースポーツや、卓球に挑戦しました。卓球は、初めて挑戦する児童が多く、ラケットを握りしめて保護者の方が出すサーブを一球入魂で打ち返していました。中央のストーンの近くに自分のローラー付きストーンを投げるフロッカーでは、ニッ森ゆう大学の先生にルールを教えてもらい、皆で競い合いました。



**オリンピック聖火リレーで使用した  
のぼり旗を無償で提供します**

聖火リレーのコースに設置したのぼり旗(棒は含まない)をお譲りします。欲しい方は、社会教育課までお問い合わせください。悠美館に取りに来られる方のみご提供となります。無くなり次第終了となりますので、ご了承ください。  
■申込方法/社会教育課まで電話で申し込み  
■受け渡し場所/社会教育課事務室(悠美館2階)  
☎社会教育課 ☎(23) 3332



おばなざわ  
日記 *Obanazawa*  
**Diary**

※撮影のため一時的にマスクを外している写真があります。

**花のかけはし定植活動  
国道を彩る5千本の花々**

市の玄関口でもある国道13号の花壇を整備し、花と緑あふれるまちづくりを目指して毎年行っている花の定植活動。今年は北村山高校や地域団体等の皆さんの手で二チニチソウなどが植えられました。作業を行っていた北村山高校生の保護者は「大人が先陣を切って作業を割り振ったら、生徒たちも何をすればいいかわかって一緒に楽しく花植えができた」とうれしそうに話していました。



**サクラマス稚魚放流体験  
元気に泳いで帰ってきてね!**

6月24日、鶴巻田内の丹生川でサクラマス稚魚放流体験が行われ、玉野小学校と宮沢小学校の児童42人が参加しました。児童たちは、サクラマスの稚魚2万8千匹を、丹生川漁業協同組合の方にサポートされながら、ゆっくりと川に放流。放たれた途端に自分たちの周りをスイスイ泳ぎ回る稚魚を観察し、流れに逆らって泳ぐ性質を発見する子も。自然の中で「生きた学習」を楽しみました。



**常盤地区公民館藍染め・草木染め  
初夏の草木でエコロジィ**

6月22日、常盤地区公民館で藍染め・草木染め体験が行われました。材料はよもぎ、カリヤス、藍の3種類。横沢孝博講師の指導で、用意した布にペットボトルのキャップや割り箸をくくりつけて染料に漬けると、淡い黄色や緑、青色に染まったオリジナル模様の布が完成。参加者は「どうやって濃い色に染まるの」「次は赤色に染めてみたい」と自然のやさしい色に染まる工程を楽しみました。



**野黒沢に交通安全かかし設置  
ハッと気づいて事故防止**

野黒沢地区内の高速道路の合流地点に、手作りの交通安全かかしが設置されました。かかしは西原地区親睦会の指導を受けて、警察署の方が手づくりしたもので、人に似せるのが難しかったそうです。この場所は複数車線が複雑に合流する地点で、平成27年には死亡事故も発生しています。新庄方面から国道13号に合流する車から見えるようにかかしを立てることで、安全走行をうながします。



# ACCESS My Class

アクセス マイクラス

宮沢小学校  
5・6年生(13人)



## 先生からのひとこと

笹原 大輔 先生

13人ですが、一人ひとりにとてつもないパワーがあり、毎日が楽しいです。「ありのようにコツコツと努力を続け、人のために行動する」を目標として、日々、成長を続けています。

## 「百人一首とさわのはな」

私たちの学級では、朝の百人一首を頑張っています。毎朝3試合ずつやって、1番上の王者になろうと、休み時間に練習する人もいます。時々、天地逆転で自分のいる場所が下に落ちたり上がったたりして楽しいです。

総合的な学習の時間では、宮沢に多くの人に来てくれるようまちおこしのために「さわのはな」というお米を広めようとしています。7月21日に全校生の保護者の方に、さわのはなについて発表します。2学期には、さらに他の地域にも広める予定です。



宮沢小学校6年  
安野 世那 さん  
(丹生2)

## 徳良湖物語 Episode2 「徳良湖で生まれた伝統 今や全国に」

花笠踊りが、今や全国で踊られているのをご存知でしょうか。YouTubeで「花笠踊り」と検索すると、東京や遠くは九州の小学校の運動会で踊っている動画がたくさんヒットします。本市の振り付けからかなりアレンジされていますが、子ども達がパワフルに笠を回し、グラウンドを移動しながら踊る姿は見応え抜群。96万回も再生されています。

安久戸流花笠踊り保存会会長の堀江一美さんは、「安久戸流は立つたりかがんだりする動作が多く、踊り手が少ないのが悩みだが、伝統を次世代に繋いでいきたい」と意欲を語ります。

100年後の尾花沢の夏空にも「ヤッショーマカシヨ」の音が響いていたら素敵ですね。



▲「安久戸青年会」のメンバーが、大石田町で開催された演芸大会で土鍋きと花笠踊りを披露したときの1コマ。(写真提供：堀江一美さん)

## 食育レシピ

### ～郷土料理を味わう～

第5弾

### ささま【笹巻き】

協力：尾花沢市食生活改善推進協議会  
(信夫ノブ子さん、齋藤クニ子さん)

- ◆ 材料 約60個分 ◆
- ・ 笹の葉……………120枚
  - ・ ひも……………60本(50cm)
  - ・ もち米……………1升
  - ・ 塩……………大さじ2杯

◆ 下準備 ◆ もち米をとき、2時間水に浸す。作る30分前にザルに上げて水を切る。



1 葉の裏側と裏側を合わせ、軸を右手側に持ち、内側に円すい状に丸める。大きい笹を外側、小さいは内側にするといいよ！軸の方を少し長めにするとふたがしやすいよ。

2 中にもち米を大さじ1.8杯入れる。入れすぎると煮たときに笹からもれてくるので注意！

3 上の方をつまむ。

4 軸の方でふたをする。

5 このような形になります。

ふたをした上側を2回巻いて結ぶ。

水と塩を入れた鍋に笹巻きを入れ、ふたをして強火で煮る。沸騰したら中火にし、40分煮る。煮上がったら、つるして完成★

#### 食べるときのもうひと工夫

うぐいすきな粉と砂糖にすりごまを加えて混ぜたものをまぶして食べると栄養価と風味がアップするよ！

7月も中旬に入り、まだ梅雨は明けておりませんが、もうすぐ尾花沢の暑い夏が、夏スイカ生産量日本一を誇る「尾花沢すいか」の出荷とともに始まります。生産者の皆さまが丹精込めて育てあげた尾花沢すいかを、全国の皆さまに笑顔で召し上がっていただくことを思うと大変嬉しくなります。

7月1日に、電車で通学している高校生の登下校時間に合わせ、市役所と大石田駅を結ぶ「大石田駅通学線」の運行が始まりました。電車通学の高校生の登下校時間に合わせて運行し、朝夕に大石田駅を利用する高校生の皆さん、送迎されている保護者の皆さんの負担軽減が図られるものと期待しております。

また、7月10日には、「新庄・最上ジモト大学尾花沢キャンパス」を開講しました。このキャンパスは、「高校生が旅立つ前に学ぶコト」をコンセプトに、地域の大人との対話を通じて生徒の主体的な学びを育むことを目指しています。様々な出会いを通じて、本市の未来を担う人材の育成と定着につながることを切望します。

現在、新型コロナウイルスワクチンの接種が順調に進み、7日以降、若い世代の皆さんの接種予約が始まっております。コールセンターでの電話予約やインターネットからの予約を行っていただき、新型コロナウイルスに安心して立ち向かい、以前の生活に1日も早くもどれるように願っています。

これから暑さが厳しくなります。熱中症にならないよう水分を十分摂取し、体調を維持できるようにご自愛ください。



市長コラム

尾花沢市長 菅根 克雄

### 低所得の子育て世帯に対する 子育て世帯生活支援特別給付金

新型コロナウイルス感染症の影響で困窮している子育て世帯に対し、特別給付金を支給します。

■支給額／  
児童1人当たり一律5万円

■対象者／

①令和3年4月分の児童手当または特別児童扶養手当受給している方かつ、令和3年度分の住民税均等割が非課税である方

②①のほか、対象児童（令和3年3月31日時点で18歳未満の子、障害児については20歳未満）の養育者であって、次の(1)(2)のいずれかに該当する方

(1)令和3年度分の住民税均等割が非課税である方

(2)新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、令和3年度分の住民税均等割が非課税である方と同様の事情にあると認められる方

■申請方法／①の方は申請不要です。②の方は申請が必要です。で、左記までご相談ください。

☎福祉課 子育て支援係【内線178】

### 【事前講習会】

試験に先立って、8月1日(日)、8月28日(土)に初心者向け狩猟免許講習会が開催されます。詳細は山形県猟友会(☎023(624)0382)にお問い合わせください。

### 無人ヘリコプター水稲病害虫防除

実施予定	散布予定農薬	実施面積	防除対象
8/17 8/28	モンカッタ ブサイド 20フロアブル	200ha	いもち病 紋枯病
8/3 8/14	トライフロアブル キラップフロ アブル	200ha	いもち病 カメムシ
8/17 8/28	ブラシソール スターフル液	200ha	いもち病 カメムシ

■区域／市内防除区域水田

※散布する水田には、目印として白い旗を立てます。

■時間／午前4時45分～午後6時

※次の点にご協力ください。

- 無人ヘリ飛行範囲には安易に近づかないようにしてください。
- 散布圃場の近くにみつばちの巣箱などを置かないでください。
- 防除区域の近くでは窓を閉めるようお願いいたします。

☎JAみちのく村山尾花沢宮農センター ☎(22)20202

### 新型コロナウイルス関係 国保税、介護保険料、後期高齢者医療保険料の減免について

新型コロナウイルスの影響で、令和3年中の収入が令和2年中の収入に比べ、3割以上減少することが見込まれるなど、基準に該当した場合、申請により、保険料または保険料が減免される場合があります。

詳しい基準については、市公式HPまたは各納入通知書への同封文書をご覧ください。担当係へお問い合わせください。

■申請場所／

市役所1階市民税務課市税係  
申請期限／令和4年3月31日

☎市民税務課 市税係

【内線123、124】

### 令和4年3月31日までに次の改修工事を行った住宅は、固定資産税を減額します

【耐震改修】

■対象／昭和57年1月1日以前に建築し、耐震基準に適合する改修を行った家屋

■内容／翌年度分の固定資産税の2分の1を減額(住宅部分120㎡分まで)

### 明るいやまがた夏の安全県民運動

7月21日～8月20日は、明るいやまがた夏の安全県民運動の期間です。新型コロナウイルス感染症対策に万全を期して、左記の4項目を推進しましょう。

- 青少年の健全育成といじめ・非行及び犯罪被害防止
  - 子どもと高齢者の交通事故防止・飲酒運転の撲滅
  - 海・山・川での事故防止
  - 身近な犯罪等の防止
- ☎市民税務課 市民生活係  
【内線136、137】

### 北村山視聴覚教育センター

【土曜日の一般公開日】

■開館日／7月17日、7月24日、8月7日、8月14日

■内容／子ども映画劇場、プラネタリウム

※予約優先です。

☎北村山視聴覚教育センター ☎(55)4211

### 【バリアフリー改修】

■対象／新築された日から10年以上経過した住宅で、居住の安全性、介助の容易性を向上する改修工事を行った、一定の居住者の要件を満たす家屋

■内容／翌年度分の固定資産税の3分の1を減額(住宅部分100㎡分まで)

【省エネ改修】

■対象／平成20年1月1日以前に建築し、外壁・窓等の断熱工事等一定の省エネ改修工事を行った家屋

■内容／翌年度分の固定資産税の3分の1を減額(住宅部分120㎡分まで)

※いずれも一定の要件があります。※工事後3カ月以内に申請が必要。詳しくはお問い合わせください。

☎市民税務課 資産税係

【内線125～127】

### ヘルプマークを知っていますか？

義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病、妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としていることが外見からは分からない方がいます。そうした方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせるためのマークです。このマークを見かけたら、電車やバスで席をゆずる、困っているようであれば声をかける等、思いやりのある行動をお願いします。ヘルプマークが必要な方へ無料で配布しています。



※赤と白のマークです。

■配布場所／市役所1階福祉課

☎福祉課 生活福祉係

【内線171、172】

### 令和3年度狩猟者免許試験、初心者向け講習会のお知らせ

【新規狩猟免許試験】

■場所／山形県職員育成センター  
期日／9月11日(土)、9月12日(日)のいずれか1日

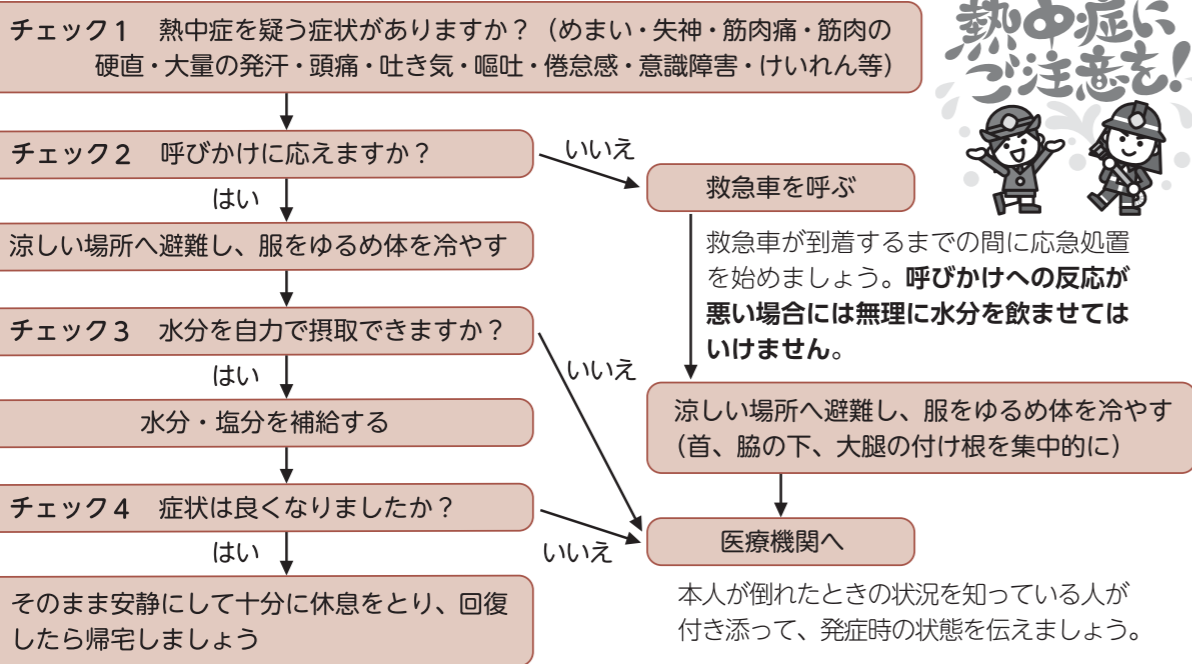
■受付期間／

8月16日(月)～8月30日(月)

※詳細は、山形県ホームページ「狩猟に関すること」をご覧ください。詳しくは、山形県みどり自然課(☎023(630)3404)にお問い合わせください。

### 熱中症の応急処置

落ち着いて、状況を確認し、下記のフローチャートに沿って対応しましょう。



大量に汗をかいている場合は、塩分が入ったスポーツドリンクや経口補水液、食塩水を飲みましょう。

☎消防本部 救急係 ☎(22)1131